

学校名	広島県立五日市高等学校
所在地	広島県広島市佐伯区観音台三丁目15-1
HP	http://www.itsukaichi-h.hiroshima.c.ed.jp/
令和3年度 交流内容	<p>【インドネシア姉妹校チカル校,マレーシア姉妹校ゴンバック校との3校合同オンライン探究プロジェクト(CEP2021 コミュニティ・プロジェクト)】</p> <p>実施期間:令和3年8月6日(金)~9月24日(金)</p> <p>第1回 Zoom 会議 8月6日(金)(放課後) 17:30~18:30</p> <p>第2回 Zoom 会議 8月20日(金)(放課後) 17:30~18:30</p> <p>第3回 Zoom 会議 9月10日(金)(放課後) 17:30~18:30</p> <p>第4回 Zoom 会議 9月24日(金)(放課後) 17:30~18:30(成果発表会)</p> <p>実施方法:オンライン会議(Zoom, LINE, G Suite)</p> <p>参加人数:本校生徒39名,チカル校生徒16名,ゴンバック校生徒15名</p> <p>交流内容:</p> <p>新型コロナウイルス感染症蔓延の影響で,従来の相互訪問型の国際交流の実施が困難となっている。令和2年度に広島県教育委員会によるG-suiteを活用したオンライン学習形態からヒントを得て,チカル校と「オンライン国際交流(CEP)」をスタートさせた。令和3年度はマレーシア姉妹校ゴンバック校を交えた3校合同でのオンライン交流に挑み,第1期として合同探究型のオンライン交流「CEP 2021 コミュニティ・プロジェクト」を実施した。初の3校合同での取り組みに多くの生徒が関心を寄せ,総勢70名の生徒が参加した。</p> <p>プロジェクトは,10名の参加者からなる7つの合同班によって行われた。参加生徒のコミュニケーションツールとして,アイデアの交換にグループLINEが大きな役割を果たした。さらに,オンライン会議にはZoomを,グループのデジタルファイル共有の場としてGoogle Driveが用いられ,それぞれのデジタルツールの特性をうまく生かしながら,コミュニケーションを活性化させ,効率的に活動に取り組んだ。</p> <p>各グループの発表タイトルは以下の通り。</p> <p>1班「コロナ禍の観光問題」</p> <p>2班「英語の授業-3か国比較と改善-」</p> <p>3班「年間行事とゴミ問題」</p> <p>4班「伝統行事×異文化交流」</p> <p>5班「地震対策プロトコル」</p> <p>6班「3か国のスポーツを組み合わせた交流」</p> <p>7班「授業用アプリをデザインしてみた」</p> <p>前年度とのプログラムの違いは,参加校が2校から3校に増えたことと,本校の参加者を3学年縦割り式で班編成したこと,そして探究テーマを与えず,設定を各グループに任せたことだ。オンライン交流の内容がレベルアップしたと同時に,新たな課題も生じた。幸い,時差に関しては日本とマレーシア,インドネシアがそれぞれ1時間ずつの時差を持っていたため,オンライン会議の開始時刻に関する調整交渉に難点はそれほど無かった。最大の課題は1グループ10名の参加者がテーマ設定するまでのプロセスにあった。チカル校の設置したグループLINEはコミュニケーションにおいて大きく貢献したが,1グループの人数の多さや3校間での意思疎通によりコミュニケーションが複雑化し,1か月間はテーマ設定に苦勞していた。さらに</p>

本校の生徒においては3学年を縦割り班にして参加させたため、他学年との慣れないコミュニケーションにもとまどっただろう。

それでも3年生によるリーダーシップにより、なんとか船は動き出し、3か国を跨ぐ協働作業が動き始めた。即興で議論する力が弱いという現状を改善しよう、得意のプレゼン手法で自分たちの考えを表し、他校の生徒とのコミュニケーションを工夫する生徒も増えた。また、やりたいことにおける価値観のズレが起きることはしょっちゅうで、そのたびに本校生徒たちは国際交流PJ 担当教員との対話を欠かさず重ね、サポートを得ながら他校の生徒との交渉に励んでいた。もちろん、3校の教員間でのトラブル共有も欠かさず行い、Zoom 会議では互いに生徒への指導助言も行ってきた。



Group LINE での生徒同士の交渉風景



6班は成果物を SNS で残した

7グループにおいて特に印象的なプロセスを残した班として2班の「英語学習」をテーマにしたものを紹介したい。本校生徒による「日本における英語学習の切実な改善」から班内での問題定義が始まったが、他の2校の生徒たちからテーマ設定への同意が得られず毎回議論が難航していた。英語学習に対する3校間の生徒の意識の差と教授法における文化的差異が大きな要因となっていたことが判り、成果物の創造までには至らなかったものの、探究のゴールにたどり着くまでのプロセスが、生徒たちにとって大きな財産となった。この3校合同探究プログラムを通じて、英語での交渉技術を習得できることは生徒にとって魅力ポイントの一つなのだが、今回は特に3年生を中心に多くの参加者が、国際分野や教育分野、ICT分野などに関心を持ち、自らの進路と関連付け進路実現に活用していたことが最も印象深かった。



6班「3つの国技を融合したスポーツ交流の提案」



会議では即興プレゼンカも要求される

【インドネシア姉妹校チカル校,マレーシア姉妹校ゴンバック校との3校合同オンライン文化祭】

実施期間:令和4年1月21日(金)~令和4年3月18日(金)

第1回 Zoom 会議 1月21日(金)(放課後) 17:30~18:30

第2回 Zoom 会議 2月4日(金)(放課後) 17:30~18:30

第3回 Zoom 会議 2月18日(金)(放課後) 17:30~18:30

第4回 Zoom 会議 3月11日(金)(放課後) 17:30~18:30

第5回 Zoom 会議 3月18日(金)(放課後) 17:30~18:30(文化祭当日)

実施方法:オンライン会議(Zoom, LINE, G Suite)

参加人数:本校生徒29名,チカル校生徒27名,ゴンバック校生徒16名

交流内容:

令和4年1月,交流の主体を1年生・2年生に移し,今年度第2期オンライン交流を実施。この第2期交流プログラムを「オンライン文化祭」とし,第1期に引き続きマレーシアのゴンバック校を迎えた3校合同でのコラボレーションプログラムとなった。このプロジェクトでは総勢72名の参加生徒が7グループに分かれ,「文化」をテーマにした5分間の交流動画を協働制作した。3か月の取り組み期間を通じて,生徒たちはLINE等を活用して姉妹校の生徒たちとアイデアの交換を行い,動画撮影や編集計画を各自で立て,実行した。さらに2週間に1回のペースで実施されるZoom会議に参加し,グループ協議と全体報告会を通じてアイデアの全体共有を行った。

各グループの作品タイトルは以下の通り。

1班「合同コラボ制服をデザイン」

2班「3校合同クイズ大会」

3班「伝統音楽で交換交流」

4班「伝統工作にチャレンジ」

5班「伝承遊びでオンライン交流」

6班「3か国の昔話を混ぜてみた」

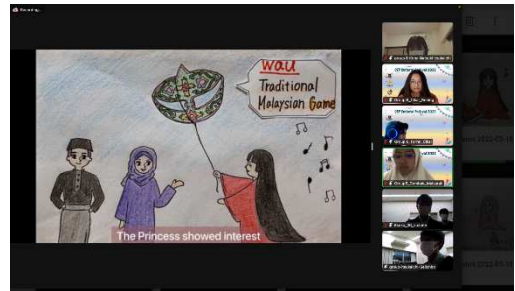
7班「伝統的な衣装で伝承遊び」

第2期の主な特徴として,第1期の取り組みでの反省点を生かし,進路が決まった3年生たちがチューターとして参加者たちをサポートする役割を担った。聞き取る力が苦手である後輩たちのコミュニケーションの傾向を調べ,事前研修会を開いたり,「とっさの会話集」を作成して後輩たちの支援をしていた。また,実際にLINEグループに入って会話の交通整理をモニタリングするなど,各班の議論がスムーズに行くように生徒目線で改善を試みていた。また,その姿を見た後輩たちも「私も先輩のように英語を使って誰かの役に立ちたい」と目を輝かせていたのも印象的だった。

今回の各班の取り組みの中で印象的に取り組んでいた班の作品がある。視聴者投票で1位を獲得していた2班の「3校合同クイズ大会」である。互いの国の伝統的な食べ物について英語で説明し,全員がその食べ物のイメージをイラストで表現し,互いに見せ合い反応を楽しむという内容だった。収録は3か国の時差を考慮し,CEPのZoom会議の時間を活用して効率的に行われていた。何より生徒同士が楽しそうに文化交流していた姿がストレートに動画で表現されていた。



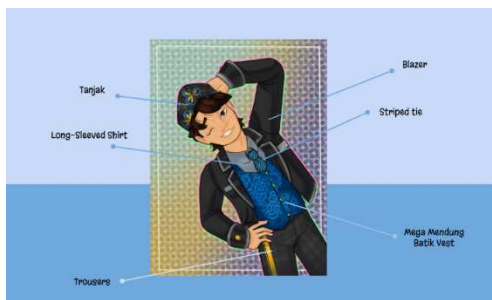
2 班「3 校合同クイズ大会」



6 班「3 か国の昔話を混ぜてみた」

プログラムが知られるようになり、参加者が増えていくことを喜ばしく思う反面、課題も残っている。人数の多さから議論が効率的に深められず、コミュニケーショントラブルによる取り組みの停滞が生じやすくなっている。「5分間の動画を作成することは可能だが、各校の生徒たちとの交流が“たし算”に留まった交流になっていないか。」「各校の文化を切り取って張り付けただけの動画で良いのだろうか。」「かけ算(コラボレーション)”になるためにはどのような提案や交渉が必要だったのか。」など、実施後の反省会で参加者たちがそれぞれ振り返っていた。

アフターコロナで従来の学校相互訪問が復活したとしても、オンラインを通じた交流形式はしばらく存続する可能性がある。この交流プロジェクトは旅費がかからず低コストで、より多くの生徒たちが関わることが独自の魅力であるがゆえに、生徒たちが主体的に「取り組んだ実感」が持て、世界に視野を広げられるような内容となるように、マイナーチェンジを継続して行く必要がある。



1 班「3校合同制服をデザイン」



今回は保護者視聴も可能になった

なお「オンライン文化祭」の紹介動画はチカル校の運営する Instagram「CEP3校合同アカウント」で随時発信されており、下記の QR コードからアクセスし視聴できる。生徒たちの成果物をぜひこちらでご覧いただきたい。



Instagram の QR コードはこちら



CEP 3校合同アカウントが継続活用されている

【CEP2022 3 校合同コミュニティ・プロジェクト】

インドネシア・チカル校, マレーシア・ゴンバック校とのオンライン合同探究プロジェクトを開催予定

第1回: 令和4年8月5日(金), 第2回: 令和4年8月19日(金),

第3回: 令和4年9月2日(金), 第4回: 令和4年9月16日(金) (発表会の予定)

各回とも放課後1時間程度(17:30~18:30)

本校1~3学年の生徒有志約30名, インドネシアとマレーシアの姉妹校の生徒約30名が, 合同グループを編成し, Google Meet や Zoom 等を利用してウェブ会議を実施して, 地域課題について合同探究学習を行う。その成果をオンライン発表会で報告する。

今後の
交流予定

【CEP2023 3 校合同オンライン文化祭】

インドネシア・チカル校, マレーシア・ゴンバック校とのオンライン文化祭を開催予定

第1回: 令和5年1月20日(金), 第2回: 令和5年2月10日(金),

第3回: 令和5年3月10日(金), 第4回: 令和5年3月17日(金) (文化祭の予定)

各回とも放課後1時間程度(17:30~18:30)

本校1, 2学年の生徒有志約30名とインドネシアとマレーシアの姉妹校の生徒約30名が, 合同グループを編成し, Google Meet や Zoom 等を利用してウェブ会議を実施しながら, 「文化」をテーマにしたコラボレーション動画作品を作る。その成果をオンライン文化祭において披露する。